

MOREX ピンテスター

取扱説明書

東京モーレックス垣塙株式会社

1. 装置仕様

標準機（減圧のみ）

2. 装置本体

- 1) 本体寸法 400×250×400
- 2) 真空ポンプ 給油式（真空度：MAX0. 1MPa）

3. 潤滑油

昭和シェル石油製、テラスオイル 32：油圧作動油 ISO VG32 相当

4. 付属品

坩堝 1個（鉄製）

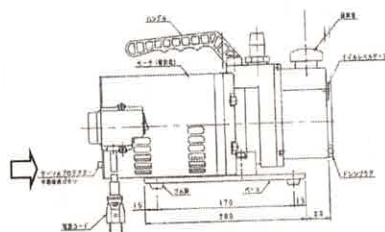
5. 操作方法

- 1) サンプリング用坩堝を予熱する（300℃以上）
- 2) 坩堝にアルミを8分目程入れる
- 3) 坩堝をシリンダーに入れ、蓋を閉じる
- 4) スイッチON（減圧開始）、真空ゲージで吸引しているか確認、タイマーをセット
- 5) ブザー作動後電源をOFFにしブザーを止める。エアーバルブ・蓋の順に開け、蓋を開け、坩堝をシリンダーから取り出す。減圧時間は5分が目安です

6. 使用上の注意

- 1) スイッチOFF後（減圧終了後）、真空状態のまま長時間放置しないで下さい（真空ポンプ内の油がシリンダー内に逆流し、故障につながります）
- 2) 保護用シリンダーは必ず装着したまま運転して下さい（吸気口に埃やこぼれたアルミがつまり、故障につながります）
- 3) 運転時温度 7℃～40℃ 湿度 85%RH の雰囲気運転して下さい
冬季において、ポンプの油の粘度が高くなった場合、ポンプの起動が困難になることがあります
エアーバルブを開放した状態でポンプの寸動（短時間のON-OFF運転）を数回行ってください
過負荷になりとまった場合、ポンプ横の復帰ボタンをおしてください

復帰ボタン
BOX あけて、ポンプ左側
下部の赤いボタン



- 4) シリンダーと蓋の間にあるリングが劣化（硬化、ひび割れ等）した場合、できるだけ早く交換して下さい（真空度が低下します）
- 5) 本体は横にしたり傾けたりしないで下さい（油が漏れる事があります）
- 6) オイルはオイルミストとなり減少します、運転中に本体横の点検窓で油量を点検し、適宜補給して下さい（真空度の低下、ポンプの故障につながります）
オイル交換は3000時間使用が目安です
- 7) 真空ポンプの排気口を塞いだり、排気口側にガスの通過を妨害する機器を付けた状態でポンプを運転しないでください（ポンプ内圧が上昇して、ポンプ本体が破

裂したり、オイルレベルゲージが飛び出したり、モータが過負荷になる恐れがあります)

7. 保証期間

保証期間は、納入後 1 年間です